

# お釈迦様のおさとりの日 成道会 (じょうどうえ)

仏教の祖であるお釈迦様のお誕生を祝う4月8日の花まつり(灌仏会)やご命日の2月15日に勤める涅槃会などはよく知られるお釈迦様ゆかりの日ですが、実はもう一日、忘れてはいけない大切な日があります。それが、お釈迦様が苦行の末にたどりついた「さとり」を得られた日、12月8日の成道会です。その成道会を迎えるにあたり、お釈迦様の苦行からさとりへの道筋を紹介しましょう。

## お釈迦様は王子様

お釈迦様は今から2500年以上も昔、インド北部ヒマラヤの麓にあったとされるシャカ国の王、シユッタドーダナとその妃マヤーとの間に生を受けました。シッタールタと名づけられ、将来の王となるためあらゆる教育を受け、夏と冬と雨

期とのそれぞれに適した家を有して季節により住み分けるなど、あらゆることに恵まれて育ちます。

青年期を迎えたある日、父と共に出かけたシッタールタは、ある農夫が振り下ろした鍬によって掘り出された1匹の虫にあわれみを感じ、さらにその虫が鳥に食べられてしまう様子を目の当たりにして、世の無常を感じ、深く心を痛めたといえます。

その後も、隣国からシヨードラを妃に迎え幸せに暮らす一方で、もの思いにふけることが増え、ついには跡取りとなる男子ラーフラの誕生を契機として髪を落とし、さとりを求めて出家してしまいました。

## 難行苦行、そして：

多くの修行者と語り、教えを求め、様々な行を実践したシッタールタでしたが、

その苦悩は消えず、やがて徹底した苦行にさとりの道を求めるようになりました。

片足で立ち続けたり、山に籠り42日もの断食を行ったりと、数々の苦行を6年も続けたといいますが、それでも心が晴れることはありませんでした。いよいよ体は衰弱し、かえって不安や焦りが膨らむばかりとなり、このような苦行ではさとりを得ることはできないと、ついに山を下りる決心をしたのです。

ナイランジャーナー河(尼連禪河)の畔にたどりついたシッタールタは河に入って沐浴し身を清めます。そして木陰で休んでいるところに通りかかった近くの村娘、スジャータから乳粥の施しを受け、徐々に体力を回復、菩提樹の木陰で瞑想に入りました。

この瞑想の間、数々の悪魔の誘惑があったと伝えられています。



絹本着色「出山釈迦図」円山応挙筆(東京・妙道院蔵)  
お釈迦様が苦行を捨てて山を下りてきた際の姿を描いた図。  
円山応挙(1733-95)48歳の秀作。港区の文化財に指定されている。

悪魔にうち勝ち！

裕福だった王子の生活に引き戻すような誘惑、妥協を促すような誘惑、野獣や多くの軍勢が攻め入る幻想により恐怖心をもたらそうとするもの、またそうした悪魔の誘惑だけでなく、飢えや渇き、眠気などの生理的な欲求など、次から次へと襲ってきたといい、シッダールタは、それらの誘惑の一つひとつにうち勝ちつとに努めたのです。

である「さとり」を得てブツダとなりました。

出家して6年、シッダールタ35歳、この日が12月8日、明けの明星が輝く時であったといわれ、静かに掌を合わせて「南無仏」ととなえたということです。

このように、お釈迦様の信念によって興り、日本へと伝わった仏教。さとりを得た際にとなえられた「南無仏」とは「仏に帰依する」という意味です。つまり浄土宗のお念仏「南無阿彌陀仏」も「阿彌陀仏に帰依する」ということなのです。

12月8日の成道会には、お釈迦様の苦難を思いつづ、感謝のお念仏をおとなえたいしましょう。

# ジャータカ物語

お釈迦さまの前世のおはなし

インドでは昔から、人は生まれ変わりを繰り返すという考え方がありました。それが輪廻転生(りんねてんしょう)です。ジャータカ物語は、お釈迦さまが前世で積んできた善行を綴った物語です。

浄土宗新聞の連載で好評をいただいたおはなしの中から21話を選び1冊にまとめました。思わずふれてみたくなる立体的な絵と、やさしいお釈迦さまの教えいっぱいのお絵本。これから生きる子どもたちに伝え、ともに考えてほしいという思いから誕生した1冊です。

育みたい「やさしさ」と忘れかけた「まごころ」がいっぱいの本



文・今岡深雪 絵・掛川晶子  
48ページ 1260円(税込)  
送料別途

お求めは 浄土宗出版 〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4  
TEL 03-3436-3700 FAX 03-3436-3356  
なむちゃんグッズやその他書籍のお求めは…ホームページ <http://press.jodo.or.jp>

## 浄土宗21世紀劈頭宣言

- 愚者の自覚を——己(おのれ)を省みて、己の至らなさを知ろう
- 家庭にみ仏の光を——あたたかい家庭を築こう
- 社会に慈しみを——優しさに満ちた社会を築こう
- 世界に共生を——共に生きる平和な世界を築こう

法然上人の心とともに  
新しい共生文化を創造します。

法然共生  
ともいき

浄土宗  
<http://www.jodo.or.jp/>



## 浄土宗とは

宗祖 法然上人(源空) 1133-1212

開宗 承安5年(1175)

本尊 阿彌陀仏(阿彌陀如来)

教え 阿彌陀仏の平等のお慈悲を信じ、「南無阿彌陀仏」とみ名をとなえて、人格を高め、社会のためにつくし、明るい安らかな毎日を送り、お浄土に生まれることを願う信仰です。

お経 お釈迦さまがお説きになった『無量寿経』『観無量寿経』『阿彌陀経』の三部経をよりどころとします。